

種差海岸でごみ拾い

八戸

八戸学院光星高専攻科介護福祉科(中村覺理事長)の学生35人が6日、八戸市の種差海岸でごみ拾いをし、環境美化に努めた。

在籍する全員が介護福祉士を目指すことを受け、奉仕活動を通して「おもてなしの心」を学ぶのが目標。昨年



から同海岸で行われている。2年生と1年生が6人程度の班をつくり、学生生活の不安や楽しみを話しつつ、熱心にごみを拾った。

2年の沖田千春さん(19)は「楽しそうな1年生と、きれいになった海岸を見て、とてもうれしかった」と話していた。(佐藤雄)